

かけがわの森から

掛川市森林組合通信



2024年春号 Vol.67



森林率

掛川市 43%

森町 71%

掛川市・総面積26,569ha 森林面積11,246ha

森町・総面積13,391ha 森林面積9,535ha

同じ太田川水系に立脚し、同等の集水域に森林を持つ

森町森林組合と掛川市森林組合。相似点と相違点を、

互いに認め合い、求め合い、活かし合い、未来へ。

榛村航一 組合長の 元気もりもり(森・森)通信 35

Jリーグ2024シーズンが開幕

2月23日、サッカーJリーグが開幕しました。私自身は生粋のサッカーファンではないのですが、ちょっとした縁があり昨年からジュビロ磐田を応援しています。ご縁とは、20年来の友人である浜浦幸光氏が一昨年末に新社長に就任したことです。

ジュビロが最終節の最後の最後にJ1自動昇格を決めたことは記憶に新しいところですが、劇的なJ1自動昇格の一番の要因は、選手はもちろん監督やコーチが一致団結して頑張ってきたことに疑いはありませんが、その裏では浜浦新社長が、彼らがのびのびとプレーできるような高所大所から物事を考え、行動していたからだと思われています。

彼はラグビー選手時代、スクラム最前列の真ん中(ツッカー)のポジションでスクラムをコントロールする立場にあり、ジュビロ社長就任前はヤマハ発動機中国統括総経理として中国事業部をマネージメントしていました。リーダーとしての豊富な経験をもって社長に就任した際は、監督、コーチとJ1昇格のための戦略を立案し、それを達成するため綿密なミーティングを膝詰めで何度も行ったようです。戦略が決定した後は、監督、コーチ、選手に全てを任せ、シーズン中は何も口を挟まない、細かい指示は出さない、最終結果への責任はとる、と決めてそれを監督、コーチに伝え実行したのです。ただし、練習場にはマメに足を運び、練習中の選手たちへの何気ない声かけだけは意識して行ったということです。こうした浜浦社長の、監督、コーチ、選手を全面的に信頼した大局的な対応が、彼らに安心感を与え、それが活気に満ちたプレーとなり、J1昇格につながったのだと思います。



浜浦社長(左)とJ1昇格祝い

Jリーグチームに限らず、どんな業種や組織であっても、浜浦氏のような行動はトップとして極めて重要で、見習うべきことでしょう。森林組合においても、組合員の皆様が安心して森林の施業整備を任せていただけるよう、職員と二致団結して経営に取り組んで参ります。シーズン終了後には、浜浦氏とJ1復帰1年目での優勝を祝い、乾杯できることを今から期待したいと思います。

これいい! 購買担当「リエさん」のオススメGOODS!!

- **ポータブル電源イチネン シグナスPB-600A ¥69,300(税込)**
LEDライト付き
ジャンプスターターケーブル・ACアダプター・シガーソケットアダプター付属
定格出力600W(瞬間最大出力1200W) 電池容量200,000mAh(640Wh)



- **ソーラーパネル ¥39,600(税込)**
ソーラーパネルがあれば太陽光でも充電可能です!

アウトドアはもちろん、災害時や非常用電源としておすすめ!

安心の日本メーカー、高出力&大容量、自然放電が少ないため長期保存可能。充実した出力方式で、家庭で使うほとんどの家電に使用できます。付属品のジャンプスターターで自動車のバッテリーが上がってしまった時にエンジンを始動させることもできます!

263×221×216mm
本体重量9.3kg

ACプラグ・シガーソケット・USB
ジャンプスターター
の出力ポートが合計12口

組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に異動が生じた際は
森林組合へご一報ください。



KAKEGAWA
Forest Owner's Cooperative

発行元

掛川市森林組合

〒436-0335 静岡県掛川市大和田320-1

TEL.0537-25-2111 FAX.0537-25-2113

<https://www.kakemori.jp>



森林組合では伐採、造材、搬出までをサポートしました。子供達は、倒した時のドンという地響きが印象的だったようです。樹齢60年。60年間学校を見守ってきたヒノキです。ヒノキの製材、乾燥は小学校近くの三浦製材所さんが担当してくれました。



まずは教室で森林に関する授業(伊達主任が担当)

創立150周年を迎えた日坂小学校。6年生が卒業記念のフォトフレーム制作を行いました。材料となったのはグラウンドに隣接する学校林のヒノキ。木に関するプロたちがサポートして素敵なフォトフレームが出来上がりました。

コラム・美林掛川へ 学校林のヒノキで卒業記念フォトフレームづくり



身近な学校の木と、身近な木に携わる人達のサポートで進んだこの活動。きっと子供達は森林や木材について、理解を深めてくれたと思います。何よりこのフォトフレームが、子供達の小学校時代の大切な思い出になってくれることを心から願っています。



大工の加藤さんがパーツを支援してくれました。カンナ掛けをして組み立てます。薄いカンナ屑がスルスルと出てくるとわーっと歓声が沸き起こりました。フレームの表面はツルツルになりました。

日坂小学校の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうござります！



かけ森インタビュー 16 今だから踏み出せる、未来のための一歩。

森町森林組合と掛川市森林組合は、太田川水系の森林をフィールドとする仲間として10年以上前から交流を重ね、地域の森林経営管理について語り合ってきました。今、両組合は業務提携研究会を発足させ組織力の向上を図ろうとしています。今回は森町森林組合さんを訪ね、甚沢万之助組合長と鈴木清之統括にお話を伺いました。

鈴木…森町の面積は約13,400haで、その71%が森林です。全国平均と同等の森林率です。森林は主に太田川(通称吉川)上流の旧天方村と、三倉川上流の旧三倉村に広がっていて、昔からこの地域を中心に林業が営まれていました。森町はそこから伐り出された木材の集積地でした。もう少し下流には一宮、飯田、各地域の里山が広がり、下流域の広大な農地へと続いています。尾崎…スギ・ヒノキの分布など、森林の様子は掛川と似ていると感じるところもありますが、掛川よりも少し山深いでしょうか。甚沢…そうですね。森町の森林も他地域と同様、戦中の強制伐採から戦後復興の拡大造林でスギ・ヒノキが多く植えられました。拡大造林は地域の環境に大きな影響を及ぼしましたが、今後はこれらの森林をどのように管理していくのか、地域の大きな課題です。

尾崎…両組合は同じ太田川水系にあり立地条件は似ている、ゆえに共通の経営課題も抱えています。今後具体化する業務提携についてはどんな思いがありますか? 甚沢…今は両組合とも元気で経営は自立しています。そのようなタイミングだからこそ、未来を見据えた良い選択をしたいと、榛村組合長と常々話してきました。今こうして業務提携に一歩を踏み出せているのは、榛村組合長と私、尾崎 参事と鈴木統括が上手く噛み合っている、関係性を築いてきたからと言えます。この連携を地域の



組合事務所のメンバーが勢ぞろい

不安は少ないですね。今回の組織力向上研修でも、多種多様な講師を招き学び、また共同プロジェクトに取り組みすることで、確実に職

員のレベルは上がり、連携への意識が高まっていると感じます。甚沢…今年辰年。十二支の中で唯一人間が創造した生き物の年です。今は無いカタチを創造していくにはとても良い年なのかもしれません。今後、掛川市森林組合の皆さんと共に、より良い森林、より良い地域の未来を描きたい、そして皆さんとならできるんじゃないかと、大きな期待を抱いています。尾崎…未来への次の一歩に私も期待したいと思います! 今後もよろしく願います!



施業現場での開始前ミーティングの様子

森町森林組合 代表理事 組合長 甚沢 万之助さん
統括 兼 総務課長 鈴木 清之さん
聞き手: 尾崎 (編集委員)

お知らせ 若手職員で株式会社ノダを視察



組合に就職して3年未満の職員で株式会社ノダへ視察に行ってきました。120年以上の歴史ある会社の沿革や概要についての説明、合板工場の見学をさせて頂きました。その中で印象深かったのが、間伐材(国産)を積極的に活用することが森林循環の促進に繋がるという説明でした。ノダさんに丸太を出すことで掛川市森林組合が目指している「気持ちの良い山」の実現に繋がると強く感じました。これからも安定的な出材を心掛けていきたいです。

森林プロフェッショナルとEIMTBで行く 掛川フォレストツアー春シーズン開始

今年もEIMTB(電動アシスト付きマウンテンバイク)ツアーの継続が決定しました。4年目となるこの取組は大変好評で、現在まで毎回満席にて実施できています。ご理解・ご協力をいただいている地域の皆様改めて感謝申し上げます。ツアーの動画公開、お申込受付などは当組合HPで行っていますので是非ご覧ください。

「森の都ならこの里」が新体制に

4月1日より、キャンプ場及び温泉施設の「森の都ならこの里」の運営が、東海ガス株式会社様に民間譲渡されました。当組合は引き続き「森の都ならこの里」と連携を図りこれまで以上に魅力ある施設となるよう協力してまいります。

林道「萩間黒俣線」がついに開通!

2022年9月23日の台風15号により崩壊していた萩間黒俣線の復旧工事が完了し、通行可能となりました。復旧に伴い道路の形状(線形)が少し変わっていますので、通行の際は十分ご注意ください。

